※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３７

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「Agenda　家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	2023 最新生活ハンドブック　（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業を通して生活を豊かにするために必要な知識や技術を身に付け、実生活に活かしましょう。
・家庭生活で必要な知識や技術の習得及び社会の課題と暮らしを結び付けて考える力を養うため、各分野では、実践的・体験的な学習を行います。積極的に取り組んでください。
・自分の生活を見つめ直し、また地域社会の一員としての課題をグループワークや演習等を通して考えていきます。多様な考えを知り、自分の価値観を築いていきましょう。
・持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることをめざしましょう。

２　学習の到達目標

a：人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている
b：生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている
C：さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・人とのかかわり、衣食住などの生活、経済的な観点において、自立した生活に向けて、意欲的に取り組もうとしている。各章の内容について関心を持ち、その充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。	・自分や家族、家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のための思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。	・自分、家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	第１章 自分・家族	・青年期に必要な自立について考える ・家族、家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する	a:自分の生活課題などを通して社会課題を捉え、その社会課題の解決に向けて具体的に考え意見をまとめることができる b:　自分の生活課題などを通して社会課題を捉え、その社会課題の解決に向けて具体的に考え意見をまとめることがおおむねできる c:社会課題への関心や意欲が不十分であり、自分の意見や考えをまとめることが困難である	定期考査 定期考査	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 発表	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート
	第３章 高齢者	高齢者の特徴を理解する ・〈高齢者疑似体験〉 ・高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する 高齢者の特徴を理解する ・〈高齢者疑似体験〉 ・高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する	a:高齢者の特徴について理解し、さらに高齢者の生活や課題にも目を向けている b:　高齢者の特徴について理解し、さらに高齢者の生活や課題がおおむね理解できている c:高齢者やその生活についての理解が不十分である	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート ﾜｰｸｼｰﾄ 振返りｼｰﾄ 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ
	第２章 子ども	・子どもの心身の特徴や発達について知る。 ・遊びの種類や形態を知り、子どもの発達を支える遊びの重要性を理解する ・〈絵本製作〉 ・子どもの食事や衣生活、安全に関わることなど子どもの生活について理解する ・子どもの育つ環境や社会の現状や課題を理解する	a:子どもの心とからだの発達についてその過程を知り、発達に応じた援助の必要性を理解している b:子どもの心とからだの発達についてその過程を知り、発達に応じた援助の必要性をおおむね理解している c:子どもの発達に応じた援助の必要性の理解が不十分である	定期考査 定期考査 製作品 定期考査 定期考査	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 レポート ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 振返りｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ
	第６章 衣生活	・人と被服のかかわり、衣服の主な機能について理解する ・衣服の材料と成り立ちについて理解する ・被服製作実習	a:衣服の機能や衣服気候を理解し、快適に過ごすための工夫ができる b:衣服の機能を理解し、快適な温度湿度があることをおおむね理解している c:衣服の機能についての理解が不十分である	定期考査 定期考査 製作品 実技ﾃｽﾄ	定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 振返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	第 ５ 章 食 生 活	・栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について理解する ・食品の安全について理解し、正しい情報を取捨選択して自らの判断で食品の選択ができる力を身につける ・食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する ・〈飲料糖度実験〉 ・〈調理実習〉	a:五大栄養素と日常の食生活の関連について理解を深め、健全な食生活を営むために情報収集し、適切な判断をすることができる b:五大栄養素に関する相互の関連性や食品に含まれる栄養素や食品の調理性を踏まえた実践的な技能を身に着けている c:栄養素のはたらきと食品の栄養についての理解が不十分である	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート レポート	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 振返りｼｰﾄ 観察 振返りｼｰﾄ
	第 ７ 章 住 生 活	・人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する ・日本と世界の伝統的な住まいを知り、環境に配慮した住まいについて理解する ・安全で快適な住まいについて理解する	a:住まいの安全・安心に関して十分理解できており、改善案を提案することができる b:住まいの安全・安心に関しておおむね理解できている c：住まいの安全・安心に関する理解が不十分である	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート ﾜｰｸｼｰﾄ
	第 ８ 章 消 費 ・ 環 境	・さまざまな契約について理解し、責任ある消費行動がとれる力を身につける ・消費者保護制度について理解し、消費者問題に適切に対応する力を身につける ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する	a:消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる b:　消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについておおむね理解するとともに生活情報をおおむね収集・整理できる c:　消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについての理解や生活情報の適切な収集・整理が不十分である	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※　「持続可能な消費生活･環境」を第2学年で履修